

奨学金って何？

公立大学法人 都留文科大学 学生支援課 学生担当

奨学金とは・・・

「憲法、教育基本法に定める『教育の機会均等』の理念のもと、経済的理由で修学が困難な優れた学生等に学資の貸与及び給付を行っています。」

独立行政法人日本学生支援機構公式ホームページ「奨学金」

引用URL: <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/> (2024-02-20)



⇒ 家計的に学校へ通うことが厳しいけれども、優秀な生徒・学生の学ぶ機会を確保するために、貸与(借金)と給付(返済不要)の形で行われる資金的援助。

大きく分けて・・・

① 日本学生支援機構の奨学金

⇒ 今回はこちらについて説明いたします。



② 日本学生支援機構以外の奨学金

- A) 国・地方公共団体の奨学金
- B) 団体法人の奨学金
- C) 民間企業の奨学金

基本的な考え方は、日本学生支援機構と同様と考えられます。
詳細については、各奨学金の募集要項等を確認してください。

日本学生支援機構の奨学金

① 貸与奨学金

⇒支給が終了し次第、日本学生支援機構への返還が必要な奨学金。

ただし、在学中に限り、必要な手続きを行うことで卒業後に返還することができる。



② 給付奨学金

⇒支給が終了しても、日本学生支援機構への返還が不要な奨学金。

ただし、支給されていた期間であまりにも成績が良くなかった場合、成績が良くなかった期間分は日本学生支援機構へ返還しなければならない。



日本学生支援機構の貸与奨学金

① 第一種奨学金

⇒★ 返還する際に利子(利息)がつかない。

★ 給付奨学金と一緒に支給されると、**併給調整
(金額の調整)**が発生します。

② 第二種奨学金

⇒返還する際に利子(利息)がつく。



日本学生支援機構の給付奨学金

「高等教育の修学支援新制度」の中に組み込まれている奨学金。

この奨学金とセットで授業料免除を受けることができます。

本学における呼称:「修学支援新制度の授業料免除」

⇔「**大学独自の授業料免除**」

- …主に、高等学校等を初めて卒業(修了)した日の属する年度の翌年度の末日の大学等へ入学した日までの期間が2年以上を経過した人を対象としています。(詳細は、学生担当窓口まで問い合わせてください。)



経済的理由で修学が困難な優れた学生って？

主に、以下の3点で審査を行います。

① 経済状況

⇒家庭の経済事情が一定以上、厳しい学生であるか。

② 学力

⇒一定以上の成績をとっている学生か。

※奨学金の種別によっては、他者と比べて優れているかも審査。

③ 人物

⇒卒業後、社会人として活躍できる学生か。



経済状況



まずは、自分の家庭の経済状況を把握しよう！

① 生計維持者(原則父母)の

- 就業形態(勤務者or自営業者)
- 昨年度・今年度の収入・所得

日本学生支援機構の公式HPにある、「進学資金シミュレーター」で、申込前に採用の可能性や程度を確認してみましょう。

② 自分の収入と支出

⇒家計簿をつけるようにしましょう！

大学院の申込の際には必須情報となります。また、学部(貸与)も採用された場合、年度末に行われる継続願手続に必要な情報となります。

学力



詳細については、日本学生支援機構の各種「奨学金案内」を確認してください。

なお、次ページより在学採用(1年生を除く)における学力審査のおおよその基準について説明いたします。

※年度末に行われる適格認定の学力基準は別途定められています。

第二種奨学金 のおおよその学力基準

- 通算修得単位数(卒業要件に関するもののみ): 標準修得単位数以上

※標準修得単位数

= 卒業要件単位数 ÷ 修業年限 × 満在学年数(重複学年分を除く)

第一種及び併用(第一種+第二種)奨学金 のおおよその学力基準

- 以下の条件①及び②を満たす

- ① 通算GPA:2.8以上

⇒ 採用年度の学年、所属する学科やその人数で変動する可能性があります。あくまで目安として考えてください。

- ② 通算修得単位数(卒業要件に関するもののみ):標準修得単位数以上

給付奨学金のおおよその学力基準

- 以下の条件①又は②を満たす

- ① 通算GPA:2.4以上

⇒採用年度の学年、所属する学科やその人数で変動する可能性があります。あくまで目安として考えてください。

- ② 通算修得単位数(卒業要件に関するもののみ):標準修得単位数以上かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること。

人物



卒業後、社会人として活躍できる学生

⇒社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素

経済産業省公式ホームページ「社会人基礎力」

URL: <https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/> (2024-02-22)

奨学金手続きにおける社会人基礎力

① 『前に踏み出す力(Action)』: 主体性・働きかけ力・実行力

⇒必要に応じて周囲に協力を求めることができるが、人任せではなく自分で責任をもって手続きを行うことができる。

② 『考え抜く力(Thinking)』: 課題発見力・計画力・創造力

⇒手続きの要点を把握して自分なりに整理し、期限までに手続きを行うことができる。



③ 『チームで働く力(Teamwork)』: 発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール

⇒書類や説明から必要情報を集約し、ルールに従った上で、自分が伝えるべきこと・伝えたいことを明確にして手続きを行うことができる。

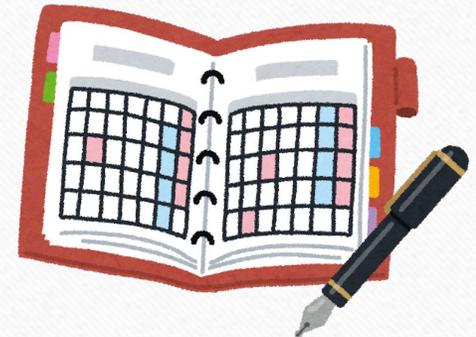
人物、具体的に どんなことに気を付けるべき？

- CAMPUSSQUAREの掲示板情報や日本学生支援機構のお知らせを、毎日必ず確認してください。
- 来た連絡や呼び出しには、すぐ対応をしてください。
- 配布された説明書類はよく読み、内容を把握できるよう心がけてください。
- 期限が設定されている提出物・手続は、期限を守ってください。
- 説明書類等で分からないことがある場合は、学生担当窓口(場合によっては日本学生支援機構等)へ相談・確認してください。
- 自分が説明を求められた際には、きちんと分かりやすく説明できるよう、心がけてください。



貸与奨学金（第一種奨学金・第二種奨学金） の全体的な大まかな手続きスケジュール

- ① 進学届提出（予約採用） or 新規申込（在学採用）
 - ② （仮）採用！
 - ③ 奨学生証の受取 & 返還誓約書提出
 - ④ 正式採用！
 - ⑤ 継続願入力 & 適格認定 ⇒ 貸与終了前年度まで毎年度必要！
 - ⑥ リレー口座（貸与されてきた奨学金を返還するための口座） ⇒ 貸与終了年度に必要！
 - ⑦ 返還 ⇒ 貸与終了月の翌月から数えて7月目からスタート！
- ★ それぞれの手続きの詳細なスケジュールについては、その都度公開・交付される説明資料を確認！



給付奨学金の大まかな手続きスケジュール

- ① 進学届提出(予約採用) or 新規申込(在学採用)
- ② 採用!
- ③ 奨学生証の受取 & ※通学形態変更届提出
※自宅外通学者のみ。不備がなければ、提出から3か月後の振込に反映。
- ① 4月の在籍報告 & 10月の適格認定(家計) ⇒ 給付終了年度まで毎年度必要!
- ② 3月の適格認定(学力) ⇒ 給付終了年度まで毎年度実施!



★ それぞれの手続の詳細なスケジュールについては、その都度公開・交付される説明資料を参照!

家計急変事由による奨学金申込

家計状況が急変し、急遽奨学金が必要となった場合、奨学金を申し込むことができます。(近年では災害を事由とした申し込みが多いです。)

給付奨学金 ⇒ 給付奨学金(家計急変採用)

第一種奨学金 ⇒ 緊急採用奨学金

第二種奨学金 ⇒ 応急採用奨学金

★奨学金によって諸条件が異なりますので、必ず資料を確認してください。



日本学生支援機構の公式ホームページ

【URL】

<https://www.jasso.go.jp/index.html>

【QRコード】



その他便利なツール・サイト

- 「動画で学ぶお金の知恵『マネビタ』」 金融広報中央委員会(愛称:知るぽると)公式HP
URL: <https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/e-learning/> (2024-02-22)
- 「奨学金貸与・返還シミュレーション」 日本学生支援機構公式HP
URL: <https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/> (2024-02-22)
- 「進学資金シミュレーション」 日本学生支援機構公式HP ※スマホ用のアプリもあります。
URL: <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>
(2024-02-22)
- 「奨学金チャットボット」 日本学生支援機構公式HP
URL: <https://bot.talkappi.com/bot?id=jasso> (2024-09-04)

貸与奨学金、本当に必要ですか？

貸与奨学金は貸与終了後に、返還する必要があります。

- 令和4年度の返還延滞率は2.7%になります。
- 高等教育機関の学生はおおむね3人に1人、奨学金を利用しています。
- 本学学部生の収容定員は2920名となっています。
- $2920(\text{名}) \times 30\% \times 2.7\% \doteq 24(\text{名})$
- 計算上、本学では876人中24名は返還できていない人が発生してしまいます。
- 前ページで紹介したツールサイトを活用して、必要性の有無、貸与を受ける場合の金額を自分で確認してください。

【参考】「奨学金事業への理解を深めていただくために〔奨学金事業に関するデータ集〕令和5年11月」

